

## インスリン療法中の糖尿病患者さん**2,650人**による 「インスリン療法と医療費に関するアンケート」

調査  
結果

◀◀ 前のデータへ 次のデータへ ▶▶

### 自由記述

#### Q23 インスリン療法にかかる医療費についての悩み、ご意見などを自由にご記入ください。

- 毎月、医療費の負担が大きく、インスリンがなくても病院に行けなく、一回の注射量を減らして打つなどしている。インスリンを打たなくては生きて行けないのはわかっているけれど、お金がないとちゃんとした治療もできない。病気になった原因もわからず、毎日インスリンで生かされている。お金の無い人は、インスリンも打てず、死んでしまうのですね。これから一生インスリンの為に必死に働いて、他の物を犠牲にして、自分の命の為に毎月高額な医療費を払い続けるとすると、やりきれなくなります。
- 私の糖尿病の治療費が毎月大体1万5千円くらいかかっています。現在子どもが小さいため働くことも出来ないなので負担はかなり大きいです。働く事が出来ても低血糖が怖くて職種も何でも良いという訳にはいかないと思います。これからが不安になります。
- 実際に、手持ちのお金がなくて診察予定日を1週間ずらしたことがある。何とかお金を工面してインスリンがなくなるギリギリで受診した。
- これから結婚や妊娠、出産などお金のかかることがたくさんあるのに、医療費が一生かかると考えると気持ちが滅入ってしまう。最低でもインスリン治療の道具は買い続けなくてはならず、同年代の人との貯金額の差が開くのも気になるし、新しいことを始めようと思えなくなってしまう。
- 医療費がかかりすぎて、食費を削っているから余計悪くなるばかり。
- 主人が定年で収入が大幅に減ったが、医療費は変わらずでインスリンそのほかにも飲み薬、別の病気の薬などけっこうな負担額になっている。一生この額を払っていくと思うと気が重いです。できたら少しでも安く抑えられると助かります。
- 腎臓病の透析治療等は費用負担が軽い又は不要と聞いています。糖尿病も国民病と言われている訳ですから何らかの配慮があっても宜しいのではないのでしょうか？
- 月に1回通院しなければならないところを、3ヶ月に2回の通院にするよう工夫しているが先生に怒られます。
- 1型なので恒久的にインスリンを打たねばならず、糖尿病だけで毎月1～2万の治療費はとても痛い。他にも病気を持っていて、どちらも今より良くなることはなく、この先の治療費の増加を考えると生きていくのがやっとなような気持ちになる。
- 医療費は高いね。まあ払えなくなったら病院に行かないだけ。日本は誰か死なないと変わらない国だから先だって死んでもいいかなと。

- 自分の命を自分でお金を払って守っているため、命について人より考える機会が多いのはいいことかとも思っているが、その対価が大きいなあと思う。医療費の悩みもさることながら、処方についての面倒くささも社会人には困ることが多い。出先でインスリンを忘れたなどの場合にその辺の病院で「患者証明書」みたいなものがあれば、ペン一本でいいので買えたらなあと思う。インスリンが簡単に人の命を奪える劇薬であることも承知しているので、そう簡単にいかないとは思いますが…。自分で自分の命を守っていくには、環境が不自由すぎるし、金銭負担も大きすぎる。誰しも病気を得る可能性はあるし、自分の病気も普通のことだと思うけれども、ほかの病気でもよかったのにとかよからぬことを考えないでもない。
- 私は毎月医師の診察を受け、三か月に一度血液検査を受けていますが、すでに糖尿病歴も20年を超えて容態も安定しており毎月の診察は時間もかかり不要と考えています。患者の状態は千差万別とは思いますが毎月受診しなければ薬剤を渡さないというのではなく数か月分を投薬してもらえる様に制度を改善することを切望しています。
- 現在、国民年金のみで暮らしています。月々の収入に対する医療費の負担が重く、生活の中で楽しみを見出せず。治療を止めたいと思うことが多々あります。自己負担額の軽減制度があると、生活にゆとりが生まれます。一割負担が認められなくても、収入に応じた自己負担額の上限、そのような制度があるだけでも患者として少しでも生きる希望を見出すことができます。
- 自分にとってこれは、必要経費だとあきらめている。
- 1型です。最近やっと自分の病気にむきあおうとしてますが、血糖のコントロールもよくなり、インスリンを打てば打つほど体重が増え、本当最悪な状態です。今、体重が減る薬もでたとききましたが、私も試してみたい、そう思うのですが、病院の先生は、忙しいため、じっくり相談できません。もし、本当にどうにかなるなら、教えてもらえませんか。医療費は、本当高いです。18歳まで無料でしたが、なぜ大人になったら、実費を支払わなくてはならないのかわかりません。1型の方は他の方はどうしてるのか、知りたいです。
- 確か18歳か20歳までは難病で公費補助があったが、それ以後は皆無です。調べると難病の定義に当てはまらないから、というのが理由のようです。確かにインスリン注射で健常人と同等の生活が送れるかと思いますが、健常人と同等のレベルに持つて行くために、その裏には健常人にはとてもわからない、はかりしれない苦勞があります。また決して不摂生とか悪いこととかしているわけではないのに、1万分の1くらいの確率で最悪にも1型になってしまったのに。
- 十年以上前はあまり考えたことがなかったが（年収も多かった）、定年過ぎて収入も減り最近では、通院する度に財布が軽くなるのがわかる。三十年前は一日一回注射すればよかったのに、今では四回も注射するので負担も多い。
- 慢性疾患制度から18歳で外れて以来、学生の頃も仕事をしていても高額な毎月の医療費負担が辛いです。生きるために必要不可欠な治療なのに工面が困難で、家族などのサポートが必要不可欠です。社会保障が何もなく、3割負担が大きく困っています。安心して治療を受けられるような保障ができることを強く望みます。
- 不摂生などの生活習慣の乱れから発症する2型の人透析になると国からの助成があるのに対し、1型で公的な補助、助成がないのが一番の不満です。1型発症の人間には国からの補助をして欲しいと切に望みます。



- 年間23万円ほどの高額医療費の負担が大きい。糖尿病についての理解が国民にも国にも浸透していないように思う。友人に話すとあまりにも高額と驚かれる。糖尿病には医療控除が無い。もしあるなら教えて欲しい。行政に聞いても、税理士に聞いても無いと言われる。糖尿病性腎症にでもなって透析を始めれば、あると言われる。ひどい、酷な話だ。透析に至らないように努力をしているのに。
- 最初がケトアシドーシス、高血糖昏睡って状態だったので辛い状態でのスタートでした。自己判断で勝手に通院をやめたり、インスリンをやめてしまうと最初の状態になると言われています。医療進歩が無く今のままだとしたら死ぬまでインスリンになる訳なのでかかる総費用等、先を考えるとちょっと辛いですね。
- 1型患者にとってインスリンは生命維持のために不可欠であり、インスリンさえ注射すれば労働生産者として納税も可能であることから、日本に止まらず、世界レベルで、できるだけ患者負担の少ないインスリン提供方法を検討していただきたいと思っています。
- 持病が複数あり、5つ以上の科にかかっているのに、インスリン療法にかかる医療費に限らず、医療費全体が膨大で、家族から「なんとかしろ」と呆れられている。肩身が狭い。しかもコントロールが悪く自制も出来ず（過食気味）大きなストレスとなっている。
- 普段の生活で最も困るのは、人前を避けて注射を打つ場所を確保すること。治療のためと割り切っていても、飲み薬ならともかく目薬や塗り薬なら人前（しかも食事を目の前にして）でできるかという躊躇する。ましてや注射を人前で打つというのはいり得ない。
- 生活をかなり圧迫し、お給料がどんどん減っている中、貯金もできないので、退職と同時に治療ができなくなる。自分の寿命はそこまでだと思っている。そのことが非常に不安で大きなストレスを抱えている。
- 病院で実際費用がかかるのは分かるが、何らかの仕組みで患者の自己負担がもう少し安くなると助かる。極端な話、収入が低い場合、生活保護を受けて医療扶助を利用した方が、普通に勤労するより可処分所得の額が多くなることもあり得る。かといって生活保護の支給を引き下げることに反対なので、ぜひ適切な医療を継続できるような国や地方自治体の支援、健康保険自己負担分の軽減など出来ないものか？
- 合併症がある以上致し方ないと思うが失業中のため大変負担に感じる。行政より助成があればと思う。
- 人の生死に関わる製剤にまで一律3割負担をさせられるのは納得のいかない部分もあるが、海外の発展途上国などではインスリンが高価な為にインスリン治療に入らず、結果として合併症を発症してしまっている方が多いのも事実です。この点ではインスリンを必要とする方が今より安価にインスリン製剤を全世界的に手に入れられるように究極としては目指してゆかねばならないと思います。少なくとも「持たざる者は死ね」的なトレンドが変わらない限り、誰も安心しては生きていけないでしょう。
- なんの治療も指導もないのに、毎月診察に行かなければ赤字になると言われ、行くと診察費は注射の指導というだけで高額。インスリンがなければ生きていけないのに、なぜ糖尿病の診察費は高いのか。薬だけ安くなっても解決しない。インスリンが全く出ない1型は難病として欲しい。2型とは、分けて考えて欲しい。症状は同じでも、全く別と考えます。赤字、赤字と言われて診察に行くのはイヤ。1カ月行けなかったときには、架空の追加請求までされる。これだけ病院にさせるくらいに、国は1型糖尿病のことを、理解してないと思う。

- 永遠に続く治療、仕方ないと思います。なんでなったかわからないのです。14歳からもう45年以上になります。はじめのころは「インスリン」は自己負担でした。現在は3割負担。飲み薬はジェネリックが出ていますが、インスリンでジェネリックがでたら使いますよ。また、インスリンに代わるものが出ればもっといいですが。生活費に響きます。大変です。
- 医療費がもう少し安くなってほしい。1型なので、インスリンが不必要になることはないの  
で、仕事ができなくなった後の医療費の負担が・・・怖いです。
- 今は食費を削るほどではないが仕事が無くなればたちまち払えなくなるので、炭水化物をやめて血糖の上がらない食事をしないとイケなくなる。
- 塵も積もれば山となる。子供の学費がかかる時期でもあり、老後の蓄えもできずに何時までインスリン代を支払っていけるんだろうかと本当に不安に感じています。打てなくなれば生きていけない不安は年々重みを感じ、毎日が憂鬱です。助けて下さい。
- 現在、不安定な雇用であり、失職すれば治療も中止するしかないと考えている。
- 1型糖尿病なので、インスリンを一生使用しなければならない。現在は仕事も収入もあるので医療費は何とかなっているが、もし仕事が無くなったらと考えると非常に怖い。国が無料で支給してくれたらどれだけ救われるだろうと考えることがある。
- 日々進歩している医学にはとても感謝しています。発症した23年前と今では、大きく変わりました。それでも患者としては期待することは限度がありませんが、もっと若い年齢で苦しんでいる子供や親のためにも、安価なインスリンが同等のものであるなら、医師が理解した上で患者に勧めてもらえればとても良いことだと思います。
- 今のところ生き続けるのにどうしても必要な治療なのに、自己負担額が大きいのは納得できない。2型糖尿病と違って自分の力ではどうしようもない1型糖尿病では医療費の免除があってもいいと思う。
- 生きるために食べる。そのためにはインスリンが必要。インスリン＝命となる訳で、それが高いのは仕方ないとは思いますが、収入がなくなっている今、とてもとても医療費が負担です。実家住まいなので、何とかってはいますが、鬱病もあるため定職に就けず、その上糖尿病と鬱病の通院で医療費は大変です。もう少し、糖尿病患者に対する医療費の助成があればと切に願います。
- 一生治らず、一日も治療の中断が許されない病気なのに、こんなに高い医療費がかかり続けるのはおかしいと思う。
- 今は何とかやっているが、老後が不安。慢性持病がある患者の医療費軽減の支援を国で考える  
事が必要。病気は人を選ばないので、余裕のある人ばかりではない。とにかく高い。医者と看護師は意外と知識不足で頼りにならない。相談窓口が欲しい。



- 18歳までは治療費が免除されていたが、それを過ぎると免除が全てなくなる。ほかの病気もそうだが、仕事をしながら治療をしなければならない病気は、なかなか仕事が休めなかったり、生活自体で悪化してしまったりするので、仕事も選ばなくてはならないと、医療費以外にも負担は大きい。現在の健康保険の制度では企業が負担する額が大きいので、治療費の高い病気は肩身がせまく、また求職しようにも、それがネックになって、結局そういう病気の人は会社側に隠してしまうことが多い。医療費だけでなく、社会保険制度、注射に対することや、病名への偏見といった世間の理解など、患者につきつけられた問題は多く、相談もできず、追いつめられることも多い。医療費負担が減れば、確かに楽になるが。
- インスリン療法を含め、医療費についての幅広い悩みなど相談できるところがあればよい。
- 今（30代）でも医療費がとてつらく、将来50代60代となった時に、もっとインスリンが必要になることを考えると、医療費的に、自分の生活がどうなってしまうかがとても心配です。本当は何か国で保障があると一番嬉しいのですが。
- 夫の理解が得られず医療費は自分のパート代で支払っています。働けなくなったら・・・と思うと不安です。今は1か月に1回通院していますが、もう少し間を空けてもらうことも考えています。
- この不景気に月二万は高い。医療費控除を考えても生きるために最低限の治療をしても国や都、区は何もしてくれないのに税金だけは取っていく。
- 医療費負担のほとんどがインスリンにかかっている。しかし、治療にはインスリンが欠かせないため、医療費削減は難しいのが現実である。
- 1型糖尿病は、インスリンをやめる＝死なので、一生使い続けなければならない。しかし、国からの医療費補助はないので（3割負担なのでという意味）生活困窮者はどんどん病状が悪化していき、合併症が起こり、その結果、国の医療費はどんどん負担が大きくなっていくと思う。世の中には病気で苦しんでいる人はたくさんいるが、一生薬と共に生きなければならない人には、薬を無償で援助するなどしていただきたい。薬代の事を考えると、この先の長い人生を生きていくことよりも、いつ、どうやって死ぬかを考えてしまう。
- 今は公費負担なので特に悩みはないが、医療費の負担がある時は、できるだけお金がかからないように診察をせず、薬だけもらったりしていた。当時血糖コントロールが不安定で、もっと検査等をして欲しかったし、積極的に治療を受けたかったが、医師側はあまり積極的に血糖を下げる方法等（運動や食事療法ではなく、持続インスリンと速効型のインスリンの上手な併用法）の指導がなかったため、だんだん自分もやる気がなくなり、インスリンだけ打っていれば良いだろうといういい加減な生活になり、今は透析をしている。今後私のような人間が増えないように、医療費の高さも問題だが、相談があった時だけ動くのではなく、医療側から常に患者に働きかけていただきたい。患者は常に積極的に病気に向き合いたい気持ちと、病気から投げ出したい気持ちと半分づつもって生きていることを知っていただきたい。
- 血糖コントロールのために仕事の条件も限られている上に、一生続く高い医療費は将来を不安にさせる。その上今後合併症やその他の病気ですらに医療費が掛かり、仕事も思うようにできなくなるかもしれないと思うと「病気のための節約」をしてしまい人生をあまり楽しめない。
- 長年の治療の間（20年間）何度薬が変わったことか、数えられないほど変わりました。また飲み薬の種類も増えて年々収入は減るのに医療費負担は増えていき、この先、まだ48歳なので、あとどのくらい何十年、薬が増えて、費用の負担するのか、と思うと老後が不安です。

- 
- 食べたら食べた分だけ薬の量の消費も早いので負担も増える。
- 
- 仕事に就いていても失業しても、また合併症などが疑われる病気が出て治療しても、何の補助も支援もない。失業すれば、治療を断念するしか道がない。
- 
- とにかく費用がかかる。そのせいで病院に通うのを惜しんで、体調を崩してしまった人もいた。正直、食事管理したくても食費を削らないと払えない時もある。医師によっては患者より情報や知識がないのに「専門科」で診療している人もいるのに、管理指導料などが高いのは納得がいかない。
- 
- 若い頃は収入が少なく、糖尿病の治療を行わない時期があり、こじらせて網膜症を発症してしまいました。現在は治療を受けられる収入がありますが、収入が少なくても治療の負担が軽くなる選択肢を作ってもらい、私のような人が減る事を望みます。
- 
- とにかくインスリン以外に使える薬が無いし、合併症も進行していて、眼科は白内障の治療やレーザー治療を受け、神経障害から左下肢切断で形成外科にも診察に行かなければならず、2週間おきに通院しており、とにかく年々医療費がかかるようになってきています。まだ37歳なので、これから先の病気に関する金銭的な事を考えると本当に不安です。今は両親が元気に働いて私を養ってくれているので、何とか生活出来ていますが、両親が働けなくなり、独身の私はどうやって生活していけるのかと不安になります。
- 
- 薬を処方してもらっただけのために、毎月診察を受ける（薬代よりも診察代の方が高い）のが嫌。ぎりぎり1か月分しか処方してもらえなくなり、数日分の余裕すらなく、東日本大震災のようなことがまたあると不安。医療費削減と言いながら診察回数を増やさせていることに矛盾・不満を感じる。
- 
- とにかく高い。「医者のお得意客になってしまっているのではないか」と思うこともある。これだけのお金が毎月別のことに使えたらどれだけ楽か。
- 
- 給料から差し引かれる医療保険料が高くなっても良いから、以前のように1割負担や2割負担に戻してほしいよ。
- 

【2013年06月公開】